

2016年9月1日

ヘルスケアの成長市場を狙い、医療機器産業へ続々参入

ヘルスケア市場に参入する企業が後を絶たない。なかでも医療機器分野はイノベーションの余地が大きく安定成長が確実なうえ比較的风险も少ないとあって、多くの企業が参入機会をうかがっている。これからも先進国における高齢化の進展と途上国の経済力向上が医療機器産業を後押しする。欧米勢が圧倒的な存在感を示す市場だが、日本勢も診断機器では競争力が高い。匠の技が生きる日本ならではの精密部材も引く手あまた。キヤノンが東芝メディカルシステムズ買収に6655億円もの大金を投じるほど将来性が期待される医療機器市場は、再生医療の台頭も追い風になっている。しかし生き残りに世界に通じるキラーアプリケーションが必須。日本勢が存在感を高めるためのキーワードは医療費削減への貢献と海外市場の開拓である。

以上